

メッセージ 4

強化の時期におけるキリストの務めは、勝利者を生み出すためである

聖書：啓1:10. 2:7. 4:5. 5:6. 17:14. 19:7. 21:10-11. 22:17前半

- I. キリストの務めには三つの時期があります。そして、キリストのからだを建造するその務めの働きは、三重の働きです——エペソ4:11-12：
- A. 肉体と成った時期は、肉体におけるキリストの時期です。この時期における働きは、贖われた民を生み出します——ヨハネ1:14, 29. ローマ3:24-25。
 - B. 包括の時期は、すべてを含む命を与える霊としてのキリストの時期です。この時期における働きは、召会を生み出しました。そして諸召会を生み出します——Ⅰコリント15:45後半. ヨハネ20:22. ピリピ1:19. 出30:22-30. ヘブル2:12. 使徒8:1. 13:1. 14:23. 20:28。
 - C. 強化の時期は、七倍に強化された命を与える霊としてのキリストの時期です。この時期における働きは、勝利者を生み出して、召会の墮落を対処し、キリストのからだを生み出し、新エルサレムを完成します——啓1:4. 3:1. 4:5. 5:6. 2:7, 17. 3:12, 20。
 - D. わたしたちは、その務めの三重の働きを遂行して、贖われた者たちを生み出し、諸召会を設立し、からだを建造し、新エルサレムを究極的に完成する必要があります。土台は、肉体と成った時期における働きです。建造は、包括の時期における働きです。建造の完成は、強化の時期における働きです。
- II. キリストの天の務めは、究極的に完成された、命を与える、七倍に強化された霊という神聖で奥義的な領域の中で遂行されます。強化の時期における彼の天の務めにおいて、彼はわたしたちを召会の墮落から救います——Ⅱテモテ1:15. 2:17-18. 4:10, 14-16. Ⅱペテロ2:1, 15. 3:3-4, 15-16. Ⅰヨハネ2:18, 22. 4:1-2, 6. Ⅱヨハネ7, 9-11節. Ⅲヨハネ9-10：
- A. 彼はエペソに在る召会の信徒たちを救って、形式的な召会生活から離れさせ(このような召会生活は、主に対する初めの愛、燭台の輝く能力、命としてのキリストの享受を失っています)、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、神のパラダイス(王国時代における新エルサレム)にある命の木から食べるためです——啓2:1-7。
 - B. 彼はスミルナに在る召会の苦難を受けている信徒たちを強めて、殉教によって迫害に打ち勝たせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代の

期間に第二の死の害に遭わないためです——8-11節。

- C. 彼はペルガモに在る召会の信徒たちを聖化して、この世との結合から離れさせ、またバラムの教えとニコライの者たちの教えから離れさせ、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代において隠されたマナを食べ、その上に新しい名が記されている白い石を得るためです——12-17節。
 - D. 彼はテアテラに在る召会の信徒たちを救い出して、偶像礼拝、淫行、悪鬼的な教え、サタンの深い事柄から離れさせ、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代に諸国民を治める権威を持つためです——18-29節。
 - E. 彼はサルデスに在る召会の信徒たちを復興して、彼らの死んでいる、また死にかかっている状況から離れさせ、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代に白い衣を着て主と共に歩き、そして彼らの名が命の書から消されず、御父と彼の御使いたちの前で主によって言い表されるためです——3:1-6。
 - F. 彼はヒラデルヒヤに在る召会の信徒たちを励まして、だれも彼らの冠を奪うことがないように彼らの持っているものをしっかりと保たせ、勝利者とならせます。それは彼らが褒賞を受けて、王国時代に神の宮の柱となり、神の御名と、新しいエルサレムの名と、主の新しい名とが彼らの上書き記されるためです——7-13節。
 - G. 彼はラオデキヤに在る召会の信徒たちを目覚めさせて、彼らのなまぬるさとキリストのない状況から離れさせ、彼らに勧めて、火で精錬された金、白い衣、目薬のために代価を払わさせ、また戸をたたいている主に対して戸を開かせ、勝利者とならせます。それは彼らが王国時代に主の座に着くためです——14-22節。
- Ⅲ. キリストがわたしたちを召会の墮落から救うのは、彼の七倍に強化された天の務めを通してであり、彼の最新の語りかけによってであり、またわたしたちが常にわたしたちの霊の中で生きることによってです：
- A. 無限で、命を解き放つ、七倍に強化された、霊なるキリストの、それぞれの手紙の最初における、七つの召会に対する個別の語りかけは、七倍に強化された、すべてを含む、命を与える霊の、それぞれの手紙の最後における、すべての召会に対する普遍的な語りかけとなります——2:1, 7-8, 11-12, 17-18, 29. 3:1, 6-7, 13-14, 22。
 - B. 召会の墮落に打ち勝つことは、霊の中に生きている勝利を得た聖徒たちが参与することによります——1:10. 4:2. 17:3. 21:10。

IV. キリストは彼の七倍に強化された天の務めによって、彼の婚姻のために彼の花嫁を準備し、彼の花嫁の軍隊を形成し、人類における彼の最大の敵、すなわち、反キリストと偽預言者を打ち破り、滅ぼします——啓19:7-9, 11-21. 17:14:

A. キリストの花嫁となるために用意を整えた勝利者は、大患難の前に携え上げられますが、その目的は、敵を打ち破り、神を満足させることです。神は、わたしたちが携え上げられることを必要とします。それによってわたしたちは、彼の満足のための初穂となることができ、また彼の敵に対抗して戦う男の子とすることができます——12:5, 7-11. 14:1, 4後半. 19:7:

1. 携え上げの意味は、主の臨在の中へと取り去られることです。わたしたちは主の臨在の中へと取り去られるために、今日、主の回復の中にいて、主との接触の中で主に近づき親しむことを学び、彼の定められた御旨のために、主を愛し尊ぶ心を持たなければなりません——Ⅱコリント2:10. 4:6-7。
2. 携え上げは、おもにわたしたちの享受のためではなく、神の享受のためです。わたしたちは携え上げられる用意を整える必要がありますが、それはわたしたちの幸いのためではなく、神の定められた御旨を完成するためです——啓19:7。
3. 聖徒たちの携え上げは、キリストの七倍に強化された天の務めによる、神の有機的な救いの究極的な段階です。彼の七倍に強化された有機的な救いによって、わたしたちと主は、現れと表現において同じになります——4:3. 21:11。

B. キリストの七倍に強化された天の務めの最終的な結果は、究極的に完成されたその霊としての花婿と、すべての勝利者の集大成としての花嫁が、共に結合され、ミングリングされ、合併されて、一人の大いなる神・人となり、神の恵みの栄光の賛美となることです。この恵みは、愛する者の中で神がわたしたちを恵まれたものです——エペソ1:6. 啓22:17前半, 21。